



三菱商事

2022 年 5 月 24 日
北海道電力株式会社
三菱商事株式会社

水力発電所アライアンス事業におけるプロジェクトファイナンス融資の実行について

北海道電力株式会社（以下「北海道電力」）と三菱商事株式会社（以下「三菱商事」）は、「道南水力発電合同会社」（本店：北海道函館市、以下「道南水力発電」）を 2021 年 11 月に設立し、北海道道南地域において「水力発電所アライアンス事業」（以下「本事業」）を実施することに合意しましたので、お知らせします。

本事業は、道南地域に位置する北海道電力所有の七飯（ななえ）発電所、磯谷川（いそやがわ）第一発電所、磯谷川第二発電所および相沼内（あいぬまない）発電所の 4 発電所に、北海道電力の子会社であるほくでんエコエナジー株式会社が所有する大野（おおの）発電所を加えた計 5 発電所のリプレイスおよびリプレイス後の発電事業を、道南水力発電が実施するものです。

（2021 年 10 月 28 日お知らせ済み）

道南水力発電は、2022 年 3 月に三井住友信託銀行株式会社および株式会社北洋銀行と融資契約を締結し、この度、プロジェクトファイナンス（以下「PF」）※による融資を受けましたのでお知らせします。

水力発電は、ダムや導水路、発電機器などの設備を広範囲に亘って設置することから、設置に必要な権利や事業に必要な関係許可等が多岐にわたるため、金融機関による事業性判断が難しく、PF による融資を受ける事例は僅少です。

北海道電力と三菱商事は、それぞれが有する水力発電事業と PF に関する知見を活かして金融機関と協議を重ねました。その結果、本事業の事業計画を高く評価していただき、PF による融資が実現しました。

今後、道南水力発電は、導水路等を北海道電力からリースを受け、既存設備の有効活用を図った上で、順次老朽化した設備のみリプレイス工事を行い、その後の発電事業を行ってまいります。

本事業において、北海道電力は、これまでと同様に地域とのコミュニケーションを図りながら、培ってきた豊富な水力発電所の保守・工事・運営に関する知見を活用して水力発電所のリプレイス工事対応、工事後のメンテナンスを行ってまいります。

また、三菱商事は、国内外で有する豊富な PF による発電事業のノウハウを活用して道南水力発電の効率的な経営・事業運営、各種契約管理、PF の資金調達管理などを行います。

両社は、純国産かつ地域の貴重な水資源を活用した再生可能エネルギーである水力発電を長期にわたって最大限活用し、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

※特定事業に対して融資を行い、そこから生み出されるキャッシュフローを返済の原資とし、債権保全のための担保も対象事業の資産に限定する手法。通常の融資とは異なり、親会社は特定事業への出資以上のリスクを負わない反面、貸主である金融機関は追加のリスクを負う事になるため、一般的に事業計画の調査が厳しく行われる。

【関連する SDGs】



【添付資料】

水力発電所アライアンス事業の概要

■本件に関するお問い合わせ先

北海道電力株式会社 広報部

011-251-4076

三菱商事株式会社 広報部

03-3210-2104

水力発電所アライアンス事業の概要について

<道南水力発電合同会社概要>

社 名：道南水力発電合同会社

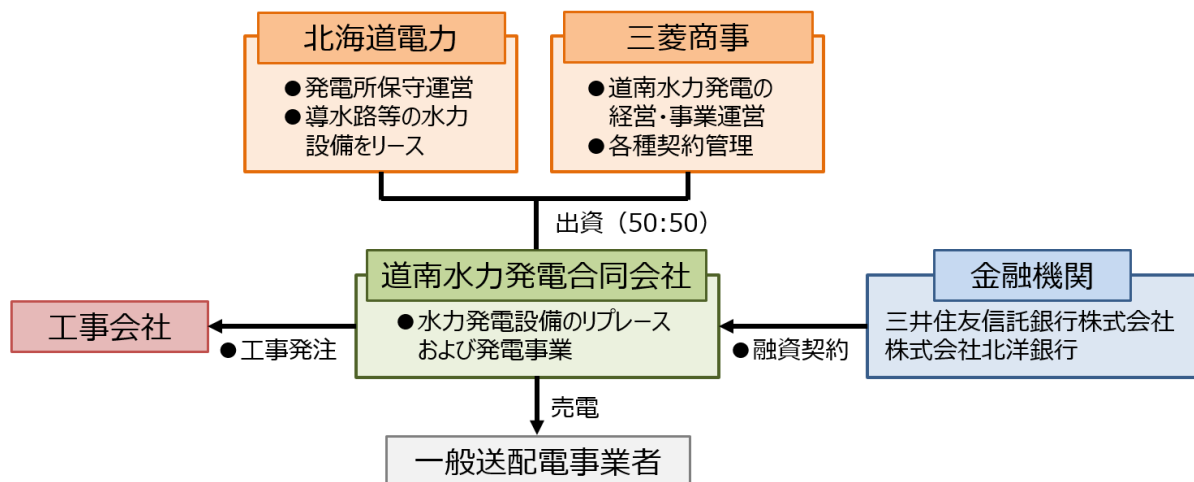
所 在 地：北海道函館市富岡町1丁目2番1号

設 立 日：2021年11月

資 本 金：1,000万円（北海道電力：50%、三菱商事：50%）

事業概要：水力発電設備の設計、建設、運転、維持・管理、電力の供給販売

<水力発電所アライアンス事業の概要>



<水力発電所アライアンス事業対象発電所の概要>

発電所名	七飯	磯谷川第一	磯谷川第二	相沼内	大野
出力 (kW)	10,000	2,400	1,250	2,000	1,500
運転開始	1965年2月	1924年6月	1929年7月	1930年12月	1985年9月
運転停止	2024年3月	2024年3月	2024年3月	2023年3月	2023年5月
リプレイス後 運転開始	2026年5月	2025年3月	2025年5月	2024年1月	2024年4月

<対象発電所位置図>

